

改善箇所説明図



注: は点検する部位を示す

助手席足元にあるプレフューズボックス内の配線において、製造時の組み付けが不適切なため、端子の固定ナットが適切な締付けトルクで取付けられていないものがある。そのため、走行中の振動等により導通不良が発生し、増加した電気接触抵抗により発熱して、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、プレフューズボックス内の配線端子固定ナットの締付けトルクを点検する。緩みや溶損がある場合は、損傷部位を新品に交換して適切な締付けトルクで固定する。

識別 : 車台番号の付近に黄色ペイントを塗布する